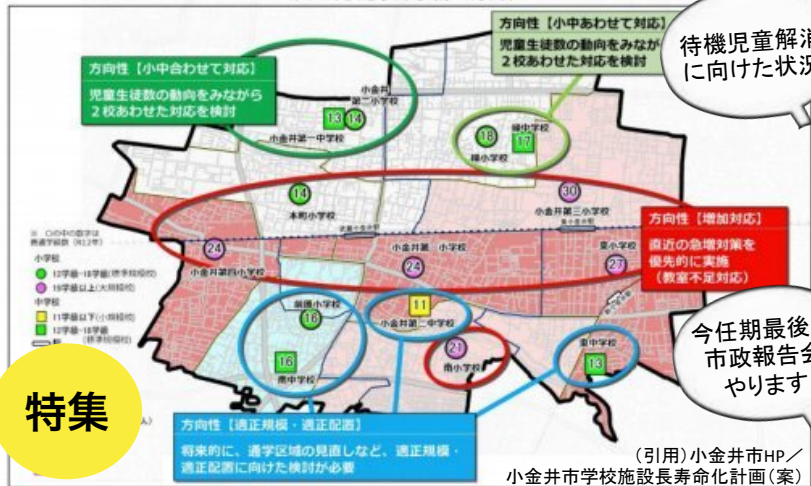
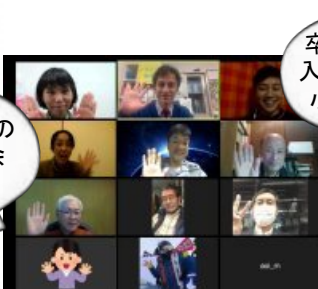


図 今後必要な検討の方向性



年度	募集定数	募集人数	募集率	内定	内定率	平均年齢	空き定数
2019年	45	331	295	276	88.1%		
2020年	42	243	281	246	87.6%	118	0
比較	3	237	-36	-4	6.4%		



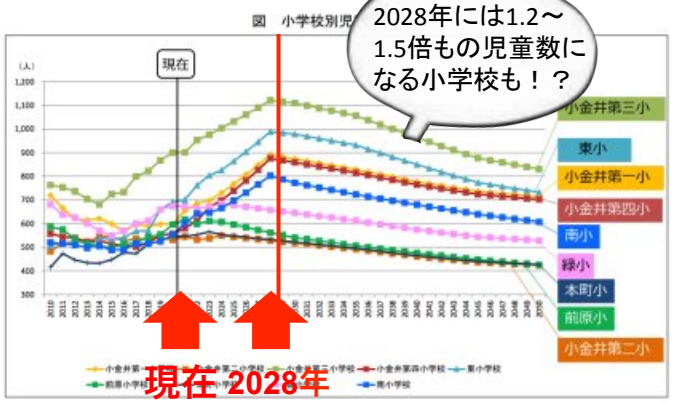
特集

学校施設、“そのままの建替え”で良いのか？

小金井市の公共施設床面積のおよそ6割を占めるのが学校教育施設です。その9割が築30年以上経過し、順次建替えなどの措置が必要となります。市が今後の計画をまとめた「小金井市学校施設長寿命化計画(案)」について、3月3日までパブリックコメントを実施しています。ぜひ、皆様のご意見を寄せたいです。

児童数増と、老朽化対策のダブルパンチ

この計画策定にあたり、児童推計が学校ごとで試算されています。昨年(2020年)から比較して8年後には1.2~1.5倍もの児童数になる小学校が5校もあることが明らかに。一方、比較的築年数が古い建物が多い小学校もあり、児童数増への対応と老朽化対策の2軸の対応が求められています。築年数が古くても安全性は保たれていることから、市は児童数増の学校を優先に再整備していく方針です。



重要な論点の議論はこれから！？

今のままの建替えや長寿命化の工事だけでは、公共施設の有効活用にならないばかりか、同じ子ども関係の施設である学童保育所の入所児童増による大規模化対策、放課後の施設有効活用も念頭に入れなければなりません。学区域の抜本的な見直しや、プール授業の外部委託化など、重要な論点についても議論されていないのです。

表 長寿命化計画と運動して推進するべき改善方策メニュー例

適正規模・適正配置の検討	<ul style="list-style-type: none"> 適学区域の見直し 統廃合
管理面・運営面の見直し	<ul style="list-style-type: none"> プールの共用化、民間委託
学校施設の維持管理の見直し(教職員負担軽減)	<ul style="list-style-type: none"> 教職員による施設管理の見直し 施設の時間外活用
空きスペースの活用	<ul style="list-style-type: none"> 他の公共施設(子育て関連施設等)との複合化 学校を核としたまちづくり(地域の拠点施設)
教育環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> 講堂の見直しによる教育環境の向上 児童生徒数の変化に柔軟に対応 9年間のつながり、学年を超えたつながり
防災対応等の強化	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の避難所機能の強化 セキュリティ対応(セキュリティ区分)

改善方策メニューは掲載しているが、検討はいつどこで？

表 令和4(2022)年以降10年間の改修計画

校名	種別	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	年度
小金井第一小学校	教室1				設計	建築	建築					
	教室2				設計	建築	建築					
小金井第二小学校	教室1				設計	建築	建築					
	教室2				設計	建築	建築					
小金井第三小学校	教室1				設計	建築	建築					
	教室2				設計	建築	建築					
小金井第四小学校	教室1				設計	建築	建築					
	教室2				設計	建築	建築					
東小学校	教室1				設計	建築	建築					
	教室2				設計	建築	建築					
前原小学校	教室1				設計	建築	建築					
	教室2				設計	建築	建築					
本町小学校	教室1				設計	建築	建築					
	教室2				設計	建築	建築					
緑小学校	教室1				設計	建築	建築					
	教室2				設計	建築	建築					
南小学校	教室1				設計	建築	建築					
	教室2				設計	建築	建築					

2021年までの10年間で小学校の建替え等の対応は、三小→一小→四小→二小と優先順位が示されています

ひとこと、言わせてもらいます！
地域コミュニティの核としての小学校のあり方について、全く議論がないまま進めるのはどうか。複合化など重要な論点も地域の皆さんと意見交換しながら、検討していくプロセスが皆無であり、今のままでは単に「綺麗になって長持ちするようになりました」で終わると懸念する。子どもの教育環境を第一義にしながらも、ただでさえ「お金がない」という小金井市であれば、資産の有効活用をちゃんと考えようよ。

ピックアップ!

待機児童解消への取組はどうなっている?

今年もこの時期がやってきました。既に第1次の保育利用申請の結果が出ました。特に待機児童数が多い0-2歳までの昨年結果と比べて分析してみました。対象施設は40園→47園に増えています。

年度	事業施設数	事業園数	申請件数	内定	内定率	未定数	空き枠数
2020年	36	264	204	591	64.1%	313	5
2021年	45	321	265	376	63.6%	189	45
比較	7	57	61	-28	-8.5%	-124	40

年度	事業施設数	事業園数	申請件数	内定	内定率	未定数	空き枠数
2020年	36	166	249	183	52.4%	166	0
2021年	42	240	281	248	67.0%	113	0
比較	7	74	33	65	13.1%	-53	-47

年度	事業施設数	事業園数	申請件数	内定	内定率	未定数	空き枠数
2020年	26	188	184	183	99.5%	1	0
2021年	35	130	174	183	105.2%	1	0
比較	9	42	90	61	22.0%	-1	-47

<0歳> 申込者数が減りました。空きが45出ています(昨年の空きは3)。

<1・2歳> 内定率が約15%、20%ほどいずれもUPしたものの、空きがない

気になる0歳人口の減少傾向

0歳人口、推計値から15%減のギャップ

942人

R3年2月1日現在の0歳人口

子育て支援事業計画のもとになる児童推計では1,109人(R2年度)

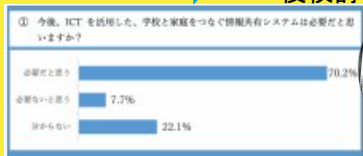
今後の保育所新設に影響?

一般質問【報告】

白井

○教員負担軽減と、保護者にとっての便利を両立するICTツール導入は今後検討

○むさこ再開発エリアのコミュニティ道路の危険性を改善へ、交通規制など警察と協議へ



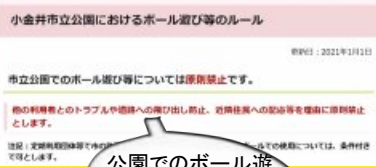
学校と家庭をつなぐ情報共有システムが「必要」と答える教員が多い

この看板じゃ意味ないよ



水谷

○都市公園法では、公園は自由利用が原則です。小金井市が1月1日に発表した「ボール遊びの原則禁止は条例による禁止ではなく、共通の約束事」と言う小金井市の担当者。市民の意見を聴かずに決めるのはおかしい。子どもや若者の声を市政に活かして。



公園でのボール遊びのルール、勝手に決められちゃった

小金井市の「今」と「今後の課題」がわかる!

イベント告知

参加費無料

市政報告&意見交換会

3/6 Sat

19:30~21:30 議会ナイト

今任期最後の

要予約 オンライン開催 (zoomを使用)

※参加される方は、お手数ですが、以下の何らかの手段でご連絡ください



Topics



○小金井市のワクチン接種について

接種対象、接種単位	接種開始時期(国が示す予定)
1 医療従事者	令和3年2月中旬ごろ
2 高齢者	令和3年4月ごろ
3 高齢者以外の基礎疾患がある方 高齢者施設などに従事する方	未定
4 1から3以外の方	未定

2月12日、小金井市のHPで新型コロナワクチン接種に関するスケジュールが公表されています(一般的に報道されていること以上の情報がまだありませんが...)。各医療機関などとの調整段階ですが、小金井市のワクチン接種担当職員体制は専任1人と兼任6人、部内応援1人という体制で臨むようです。国分寺市は専任3人いるなど、市によって体制は異なりますが、接種しやすい環境づくりを期待しています。

○春の卒業式・入学式は縮小で開催へ

ご家族の参列は1名まで!?



今春の小中学校卒業式・入学式について1月28日の教育委員会定例会で報告がありました。検温・手消毒・換気をして、卒業式は概ね1時間、入学式は30分を目安に開催することのこと。

LINE 公式アカウント

登録お願いします

白井とおる LINE公式アカウント開設しました!



問い合わせ・ご意見はコチラへ

kogaomo@gmail.com

080-4004-5927 (白井)

facebook facebook.com/kogaomo

WEB kogaomo.com/

QRでWEBへ簡単アクセス



小金井市議会 会派

小金井もおもしろくする会

【事務所】東町4-38-27 201号

白井 亨 (小金井市議会議員・2期目)

1975年生/大阪府枚方市生まれ・育ち。2007年に転勤で偶然小金井市に住む/8歳と10歳の子育て中/約10年前まで「無関心市民」。2015年市長選では2,804票差で惜敗。

twitter @shirai106 Ameba

facebook facebook.com/shirai106

水谷 たかこ (2019年12月9日より市議会議員)

1966年兵庫県神戸市生まれ/1989年に就職で上京/1999年から小金井市民/家族は夫と子(4人)、実母を遠距離介護中/特定行政書士/オフィスTA・KA・KO代表/防災士

twitter @tamitamimin Ameba

facebook facebook.com/takako.mizutani.96